

平成29年度第2回廃棄物減量等推進審議会会議録

- 1 開催日時
平成30年3月22日（木）
開会 午前 10時00分
閉会 午前 11時10分
- 2 開催場所
尾張旭市役所 南庁舎2階 201会議室
- 3 出席委員
鈴木 千賀、須寄 素夫、金谷 津由子、相羽 かよ子、谷口 悦予、伊藤 紀子、白坂 弘子、梶田 英也、高田 智生、横井 洋子、松原 裕子 11名
- 4 欠席委員
本間 彰 1名
- 5 傍聴者数
0名
- 6 出席した事務局職員
環境課長 木戸 雅浩、環境課長補佐 三浦 勝之、環境課主事 山下 徳仁
- 7 議題等
(1) 平成29年度ごみ排出状況について
(2) 燃えるごみの排出量に応じた費用負担の検討について
- 8 会議の要旨

環境課長	<p>定刻になりましたので、ただ今から平成29年度第2回尾張旭市廃棄物減量等推進審議会を開催させていただきます。</p> <p>皆さまには大変お忙しい中ご出席いただきまして、誠にありがとうございます。</p> <p>本日は、子ども会連絡協議会の本間委員より、事前に欠席の連絡を受けていますので、ご報告をいたします。</p> <p>また、イトーヨーカ堂尾張旭店の委員に変更があり、今回から新たに高田委員に出席いただいております。今後ともよろしく願います。</p> <p>本審議会は、市の「附属機関の会議の公開に関する基準」に基づき、傍聴を認めております。また、「附属機関の会議録等作成に関する基準」に基づき、本審議会の会議録については情報公開の対象となることも、併せてご了承いただきますようよろしくお願いいたします。</p> <p>本日は、11名のご出席をいただいております。委員の半数以上のご出席となりますので、本審議会条例第7条第2項により、本審議会は成立しております。</p> <p>議題に入る前に、資料が当日配布となり大変申し訳ありませんでした。皆様の机上に配布しておりますが、不足等がありましたら事務局にご連絡ください。</p> <p>特にないようでしたら、次第に従って議題に入っております。</p>
------	--

	ここからは、会長の鈴木先生に議事の進行をお願いいたします。
鈴木会長	それでは、次第に沿って議事の進行をさせていただきます。 議題2(1)「平成29年度ごみ排出状況について」、事務局より説明をお願いします。
山下主事	<資料に基づき説明>
鈴木会長	ただいま説明のありました、「平成29年度ごみ排出状況について」、ご意見・ご質問等ございましたらお願いします。
須寄委員	処分ごみの平成35年度目標値577g/人・日は、どのように算出したものですか。
環境課長補佐	「一般廃棄物ごみ処理基本計画」の計画期間は平成26年度からですが、平成24年と25年度の2年をかけて作成しています。 その際、平成24年度実績を計画の基準値とし、雑がみの分別、排出量に応じた費用負担などの取組によるごみ減量効果を推計し、算出した数値です。
須寄委員	基準値と比較して何%減少させようという目標ですか。
環境課長	処分ごみ排出量削減率は17%です。
白坂委員	処分ごみ一人1日当たり排出量で、5月が多く1、2月が少ない理由は何ですか。
環境課長補佐	昨年、一昨年を見ても同じ傾向がでていましたが、その理由まで明確に分析できておりません。
白坂委員	私は、暖かくなったことで、掃除を行いごみを処分しようという意識なのかと考えますが、それにしても大きな差になっております。
環境課長	草や剪定枝などを処分するために増えていることもあります。一概に家庭から排出されたとは言えない部分があります。
須寄委員	5月はごみゼロ運動でごみを排出するため、増加している可能性も有ります。
榊田委員	製紙工場でリサイクルを行っていますが、古紙の発生も4月、5月、6月が多くあります。転勤や3月決算の影響で排出量が多くなります。
横井委員	地区別組成調査結果ですが、私は自治会活性化地区に住んでいますが、古着類の混入率の数値が一番高く意外でした。自治会にも古着収集がありますが、何か理由がありますか。
環境課長補佐	組成調査では、衣類以外に端切れも見受けられます。端切れも汚れていなければ、古着類に分類することになります。 端切れを排出した人が、迷って燃えるごみに出してしてしまった可能性もあると想像します。
横井委員	自治会の古着の収集では、汚れていても古着類に出してくださいと周知しています。
環境課長補佐	市の収集では、汚れていれば燃えるごみに出してくださいと周知しています。自治会の収集は、業者との契約の中で可能としているのかもしれない。

谷口委員	<p>若い人は生ごみも衣類もごみ袋に入れてしまうと思われま</p> <p>私の世代は分別に取り組むかたが多いと思うので、若い人に分別が浸透すればごみを減量できると思います。</p> <p>私も審議会に籍を置いているので、集積所の不適正なごみを分別していますが、若い人に分別のお話をした方がいいと思います。</p>
鈴木会長	<p>地域のかたが、ごみ集積所で分別の声かけをしていただくと安心する部分はあるんですが、ごみを出してそのまま仕事にいつてしまうかたもいます。</p>
谷口委員	<p>市民が不適切な分別について説明すると、何をされるかわからないこともあるので、周知できる講座があるといいと思います。</p>
白坂委員	<p>ごみ集積所に分別を周知するものがあるといいのですが、ごみ集積所は市の土地に設置されていますか。</p>
環境課長	<p>市の土地でないところにも集積所はございます。市にも分別の周知や収集日の掲示板はありますが、すべての集積所に設置されているわけではありません。</p> <p>若年層へのPRについては、小学校での教育を通じで保護者にも波及させていくことを考えています。ごみの出し方に協力していただける社会づくりのため、学校と連携して進めたいと思います。</p>
横井委員	<p>資源の混入率で高いのは、日を決めて収集していないものと考えられます。収集日が何曜日とわかっているれば、適正排出も増えるのではないのでしょうか。</p>
環境課長補佐	<p>古紙・古着類は月2回の収集があります。地域の収集も有り、わかりにくい部分もあるかもしれませんが、収集量を考え現状の回数となります。</p>
横井委員	<p>地域の収集に排出していたので気にしていませんでした。</p>
鈴木会長	<p>他にご意見・ご質問等ないので、議題2(2)「燃えるごみ排出量に応じた費用負担の検討について」、事務局から説明をお願いします。</p>
環境課長補佐	<p><報告書を用いて説明></p>
鈴木会長	<p>ただいま説明のありました、「燃えるごみの排出量に応じた費用負担の検討について」、ご意見・ご質問等ございましたらお願いします。</p>
須寄委員	<p>ごみ処理費用は衛生費の一部ですが、平成24年度のごみ処理に関する費用はどれくらいですか。</p> <p>ひとつ思うのは、削減目標が主となっているように感じますが、それよりも市民にリサイクル・リユースを啓発していくの方が大事です。ごみ処理費用を有料化した場合、そのときはごみは減少すると思いますが、5年10年たつと元に戻っていくと思います。</p> <p>学校へ働きかけをして、子どもの頃からごみに関する考え方を広める方が効果があると思います。</p> <p>最近知ったのは、水鳥やイルカがプラスチックの袋を食べて死んでいることが多いそうです。地球全体をひとつの生命体であると考</p>

	え、ごみ減量だけでなくごみの扱い方について学ぶことが大事です。
環境課長補佐	<p>計画書に前計画期間の処理費用が掲載されております。ごみの排出量が年々減っているため、ごみ処理費用も減少していますが、今後は晴丘センターの延命化・更新があるため、ごみ処理費用は増加していくものと考えております。</p> <p>また、数値目標はありますが、いかに市民に啓発していくかが課題となっています。市民団体や自治会などに赴いて説明をさせていただきますが、その際はご協力のほどよろしくお願いいたします。</p>
横井委員	<p>現在も市広報などで周知していると思いますが、それを見ていない、若しくは流し見をしてしまうため、実行に移すことは難しいと思います。しかし、発言をして伝えることで、少しずつ浸透していくと思います。団体や自治会の代表等にお声がけをしていくことで、根強く広まっていくと思います。</p>
鈴木会長	<p>どれくらい効果があるかわかりませんが、発言力があるかたに動いてもらう以外に、いろんなキャラクターを使って周知することも有効な方法と思います。他の自治体では、キャラクターの名前を分別に関係するものにしたことで、影響力があったようです。</p> <p>尾張旭市はあさびーを前面に押し出していますが、ごみ分別に積極的に活用されていないのではないかと考えます。</p> <p>イベントであさびーが標語などをつけて目を引くことで、効果は期待できると思います。</p> <p>それでは、他の委員のかたのご意見は有りますでしょうか。</p>
松原委員	<p>皆さんの話を伺い、的確な指摘があり、聞いていてなるほどなどということが多く、勉強になっております。</p>
伊藤委員	<p>今年度から委員として活動していますが、何もわからない中で資料を読みつつ、理解をしようとしております。循環型社会推進会議の委員としても活動していますが、以前からいたかたの活動や考え方もあり、報告書ができたのだと知りました。一市民として参加したのが、考え方を考えることができました。</p> <p>ご意見をいただけると、循環型社会推進会議で検討することができますので、よろしくお願いいたします。</p>
高田委員	<p>私どもは市の取組に全力的に協力したいと考えています。掲示板にごみの取組に関するポスターを貼るなど、活動として店の一部を使うことでキャンペーンを行うことはできます。一般のかたはお断りしていますが、市の活動には協力していきますので、ご相談いただければと思います。</p>
鈴木会長	<p>ごみの減量という意味での有料化の検討、ごみの減量の啓発ということで、いい方向に進んでいけばと思います。</p>
金谷委員	<p>自分も分別が細かくできるようになってきたと考えています。委員として活動することで、分別が身近になりました。ごみの集積所が目につくようになり、進歩なのかなと思います。日々勉強させていただきます。</p>

相羽委員	<p>私は、以前、環境事業センターのお手伝いをしたことがあります。ごみは出さないようにしていますが、郵便物でDMが届きます。無駄ではないかと思うので、止める方法はないのでしょうか。</p>
鈴木会長	<p>集合住宅などでは、不要なDMをいれる箱があり、それを雑がみとして分別しているところはあるようですが、一般のお宅だと難しいかと思います。</p> <p>有料化については、方法のひとつとして考慮しつつ、循環型社会を継続していき、よりよい尾張旭市を作っていくためにどうするかをご意見いただく必要があります。</p> <p>有料化ありきではなく、有料化という手法がありつつ、別の方法で減少が図られる方法があれば、その道を探ることもひとつです。</p> <p>有料化についての報告書をいただいておりますが、皆様からのご意見をいただきながら、これから費用がでてくる晴丘センターの延命化や施設の更新も考慮する必要が有ります。</p> <p>また、分別をきちんとする、オピニオンリーダーと協力する、市のキャラクターによる周知を行うなどを今回議論してきましたが、有料化もあくまでもごみ減量の手段のひとつとして考えられるのではないかと考えています。</p>
榎田委員	<p>私の会社では古紙を資源としてリサイクルをしています。市民に分別して出していただいておりますが、何にリサイクルされているのかを市民に周知することが大事なので、もう少しアピールしてもいいのではないかと思います。</p> <p>集まる紙ごみも、雑がみが増えてきています。紙ごみは、以前は燃えるごみに出していたのが変わってきていました。</p> <p>機会があれば、古紙のリサイクルを活動の一つとして周知していただけると有り難いです。</p>
谷口委員	<p>PRが足りないという点では、私もこの会議に関わっているので、ごみに関する意識が高まりました。</p> <p>市民に意識させるには、子ども会や低年齢層への周知、リサイクルの周知が不足しているのではないかと感じました。</p>
鈴木会長	<p>有料化の検討とごみ減量の啓発という2点に重きをおけば、これからの延命化工事などにも対応できるのではないかと思います。</p> <p>他にご意見・ご質問等ないようですので、事務局は本日のご意見を参考に燃えるごみの排出量に応じた費用負担について検討を行ってください。</p> <p>次第3「その他」について事務局からお願いします。</p>
環境課長	<p>長時間にわたりご審議いただきましてありがとうございます。</p> <p>次回は、今回ご議論いただいた内容を事務局で整理・検討し、事務を進めていきたいと思っておりますのでよろしくお願いします。</p> <p>平成30年度に判断を行う「燃えるごみの排出量に応じた費用負担の検討」について、4月以降に市長からの諮問等が行われる予定</p>

	<p>となります。ごみの有料化ありきではなく、様々な視点での検討にご協力をお願いいたします。</p> <p>資料が当日配布となり大変申し訳ありませんが、気づいた点があれば、事務局までお伝えください。</p> <p>次回開催は日時が決まり次第、なるべく早く委員の皆さまにご案内させていただきます。</p> <p>お忙しいとは思いますが、ご出席くださいますようお願いいたします。</p>
鈴木会長	<p>それでは、これもちまして、平成29年度第2回尾張旭市廃棄物減量等推進審議会を終了いたします。</p> <p>皆さま、長時間にわたり大変お疲れ様でした。</p>